

『おいしいそうなおべんとう』

一年 女子

このほんをえらんだりゆうは、ひょうしのひやしちゅうかがおいしそうだったからです。このほんにでてくるシロクマは、おべんとうのなかにはいって見たら、どんなかんじかそうぞうしていました。

おべんとうのなかには、おにぎり。おにぎりのまんなかには、ちよこんとシロクマがはいっていたのがかわいかったです。わたしもおにぎりがだいすきなので、さけやこんぶといっしょに、あつあつのおにぎりのなかにはいってみたいなあとおもいました。

つぎは、ウインナーべんとう。わたしのママは、いつもタコのためにくろごまをつけてくれます。ウインナーといっしょには入れるのは、かんがえただけでもよだれがでます。そのつぎは、そぼろべんとう。たまご、おにく、えんどうがおふとんみたいにひいてあって、わたしもとあしをのばしてねてみたいです。とつてもきもちよさそうです。つぎは、のりべんとう。シロクマはのりのなかにもぐっ

ているけれど、もしわたしだったら、まっくろになっていやです。

そして、サンドイッチ。わたしのおべんとうのなかにサンドイッチがはいっていることがなかったのうらやましいです。たまご、レタス、ハム、チーズ、ぜんぶわたしがすきなぐがはいっていて、このなかにはさまれたいです。きつといいにおいですがねます。

さいごは、ひやしちゅうか。ひやしちゅうかのめんがおおくて、シロクマがてをあげてめんうずにすいこまれていったのがふしぎでおもしろかったです。もしもじぶんだったら、おおもりのめんをそのままモリモリたべてみたいです。ああ、どれもおいしいそうですよだれがぢやいます。こんど、ママにたくさんタコウインナーをつくってもらえるようにたのみたいとおもいます。シロクマがママのおべんとうをどんなふうにたべるのかとてもたのしみです。ママ、いつもおいしいおべんとうをありがとう。

発行所	著者	書名
PHP研究所	柴田ケイコ	おべんとうしろくま

◆ 生活作文 ◆

わたしのおとうと

一年 女子

わたしには、おとうとがいます。なまえはやひろ、二さいです。おとうととあそぶのがたのしくて、ついわらつちやいます。いっぱいあそぶことで、やひろはちよつとずつせいちようしました。やひろは、くるまであそぶのがだいすきです。コースがあつて、「ブーン。」

といいながらくるまをはしらせています。わたしもいつしよにくるまをはしらせると、こんどはヘリコプターがとんできます。やひろは、えをかくのがじょうずです。ぐちゃぐちゃだけれど。かべにえをかいていたら、おとうさんに、

「こらー！」

とおこられました。わたしなら、かべにらくがきをしないのに。わたしは、やひろはおこられるけれど、えをかいてたのしそうだなとおもいます。

ときどき、ぎやーぎやーいうときがあります。わたしはうるさいなあとおもいます。

「やひろ、なかないで。」

というとなきやみます。ふう、よかった。なんでなくのかなあ、なにかこまっているのかなあ。いろいろかんがえるけれど、なぜ

なくのかはわかりません。

いま、おかあさんはもうすぐあかちゃんがうまれるので、いえにいません。だから、おばあちゃんがわたしたちのおせわをしてくれています。やひろは、おかあさんがいなくてもさみしくありません。でも、わたしはおかあさんがいないときみしいです。

いつもげんきなやひろがねつをだしてしまいました。おばあちゃんはやるもずつとやひろのおせわをしなくてはいけないのでつかれてしまいました。だから、わたしがおばあちゃんのでだすけをしました。

「ちよつとみとつてね。」

というので、おばあちゃんのかわりにやひろのようすをみています。

わたしががつこうにいくときも、まだ、ねつがさがらないのでしんぱいでした。いつになつたらねつがさがるかわかりません。しばらくねつがさがらないかも。どうしよう。しばらくわたしもあそべないとおもいます。はやくねつがさがらないかな。はやくいつしよにあそぼうよ。やひろがげんきになったら、またあそぼうね。

あかちゃんがうまれたら、やひろとあかちゃんといっしよにあそびたいな。なににあそぼう。くるまかな。ヘリコプターかな。やひろがあそびたいものであそんであげるね。みんなでなかよくあそぼうね。

◆ 詩 ◆

わたしにまかせてね

一年 女子

わたしはばあばんちでいつもおてつだいをしている
あらいものをしたり
りょうりをしたりする
キャベツのきりかたをおしえてくれた
まずはあばのみほんをみてまねをする
ななめにトントンする
シャキシヤキ
きもちいいな

つぎはたまごやき
シャカシャカシャカ
しろみをしつかりまぜないとね
「ジャー。」
とたまごをフライパンにいれる
いいにおい
でもおくによせるのがむずかしい
しっぱいもするけれどだいじよぶ
なんかいもやるよ
だって五にんぶんつくらないとね

いっぱいつくつてたべたよ
「おいしいね。」

やったあ
うまくなってきたかな

ハンバーグのときは
こねこねするのがきもちいい
こねこねしたらまるめるよ
やくのはばあば
おりょうりするのほたのしいな
もつとおてつだいするからね
ばあば
またおしえてね

おとなのは

一年 女子

ごはんをたべるとき
きになることがある

それはしたのほ
おとなのはがでてきた

でもこどものはとおとなのはが
くつついている

またかあ

まえにおとなのはがはえてきたときとおなじ
もしかしてはいしゃにいくのかな

はいしゃでレントゲンをとった

さきにおとなのはがはえてきたから

ぬいたほうがいいといわれた

またかあ

さいしよは一ぼんずつぬくかとおもったら

二ぼんいっしょ

こわいな

いやだな

とちゆうでちかくにだれもいなくなり

こわかった

ますいをするとき ちくつとされた

やっぱりいたかった

はやくおわらないかなあ

せんせいはわたしのはをぐつともって

うえにちからをいれた

「ばきつ。」

なんだろう おとがした

どきどきした

「ふくろにいれておくね。」

とせんせいはいった

ちからがふうつとぬけた

ますいがとれて

すこしいたくなってきた

いまおとなのはがみえている

うれしいけれど

ぬくのはもういやだ